

# 関西学院大学

探究評価型入学試験要項

2027年度

本冊子とあわせて総合型選抜<sup>※</sup>入学試験要項 共通冊子 2027年度も必ずご確認ください。

※探究評価型入学試験・グローバル入学試験・学部特色入学試験・スポーツ選抜入学試験

< 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度 >



<https://www.kwansei.ac.jp/admissions/guideline/>



関西学院大学 入学センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号  
TEL (0798) 54-6135 (直通)

## 総合型選抜における注意事項

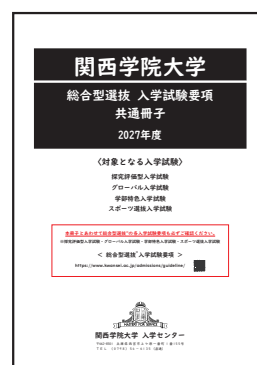
本学の総合型選抜は、『本学を第一志望とし強く入学を志望し、合格した場合は本学に入学すること』を出願の資格としています。そのため、審査日以降は合否にかかわらず辞退することはできません。ただし、第一次審査または第二次審査を欠席した場合は、合否判定の対象外となります。出願資格を十分に理解したうえで出願してください（スポーツ選抜入学試験は他大学との併願もできません）。

### 入学試験要項目次

関西学院大学アドミッション・ポリシー	1
探究評価型入学試験アドミッション・ポリシー	1
本学が定義する「探究活動」について	1
1. 募集人員・審査日程	2
2. 出願資格	3
3. 審査日時・場所・審査方法・合否発表	4
4. 提出書類と提出書類記入上の注意	5
5. 前年度の入学試験結果	11
6. Q & A	11

以下項目については、『関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度』をご確認ください。

併願	P. 2
出願登録期間・入学検定料納入期間・提出書類送付期間	P. 2
インターネット出願と提出書類郵送の流れ	P. 3
入学検定料	P. 6
受験票について	P. 7
メッセージについて	P. 7
受験にあたっての注意事項	P. 8
合否照会	P. 10
入学手続	P. 11
奨学金	P. 12
本学入学後の氏名表記に使用可能な漢字	P. 12
こども性暴力防止法の施行に関するお知らせ	P. 12
入学金、学費・その他の諸費	P. 13
キャンパスマップ	P. 15
キャンパスへのアクセス	P. 16
Q & A	P. 17



## 関西学院大学アドミッション・ポリシー

世界を視野におさめ、他者（ひと）への思いやりと社会変革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志を持って行動力を発揮する“Mastery for Service（奉仕のための練達）”を体現する世界市民を育成することが関西学院のミッションです。

関西学院大学は、このミッションに共感し、大学での学びや諸活動の中で、自分への挑戦をし続ける意欲にあふれ、さまざまな適性を有する多様な背景をもった学生・生徒を世界のあらゆる地域から受け入れます。

そのために、これまでに培われた確かな基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた資質、能力、学ぶ意欲などを、多様な入試制度により多角的に評価することを基本的な方針としています。



関西学院創設者 W. R. ランバス

## 探究評価型入学試験アドミッション・ポリシー

Society5.0の到来や人工知能（AI）の台頭、急速なグローバル化の進展等、予測困難な社会の変化に適応するため、自己の在り方生き方を考えながら、物事の本質を様々な角度から探り見究め続けることが必要です。本学では「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を捉えたうえで、社会に主体的に関わり新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする気概を持つ者からの挑戦を求めています。

これらの背景から、本入学試験では、関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき探究学習を通して身に付けたそれらの力を多面的・総合的に評価します。これまで主体的に取り組んできた探究活動を「新たなデータを収集して知見を明らかにしようとする事を通じた探究活動」、「国内外の学校・様々な機関と協働を通じた探究活動」、「特定の社会課題等に関する学術的考察を通じた探究活動」に区分し、書類審査や面接（口頭試問含む）、プレゼンテーション審査等の多様な審査方法をもって、探究活動の過程を重視した評価を行います。

主体的に取り組んできた探究活動での経験を、本学入学後に学部での学びや研究をはじめ、様々なプログラム等に積極的に参加して活かしていくことを期待しています。

## <本学が定義する「探究活動」について>

本学が定義する「探究活動」とは、以下①～③のように問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく活動です。

- ① 世界の諸課題・実生活や実社会に目を向け、疑問や関心に基づいて自ら課題を見付ける
- ② 課題について学び、必要な情報を収集して整理・分析し、知識や技能に結び付け、他者や様々な機関等と協働しながら、課題の解決に取り組む
- ③ 分析・考察結果や活動から学んだことを振り返り、また新たな課題を見付け、その課題の解決に取り組む

例	該当しない活動※	該当する探究活動
1	スポーツ・文化活動（ダンス・バレエ等含む）の大会に参加して全国大会で好成績を収めた。	スポーツ・文化活動で失敗した経験から、チームビルディングに興味を持った。目標の成績を残したチームと残すことができなかったチーム（計10チーム）を対象に、チーム機能に関する質問紙調査を実施した。
2	モデル・アイドル活動等で雑誌やテレビで取り上げられた経験がある。	アイドル活動を通じて取り組んだ地域活性化活動がきっかけとなり、地域活性化に興味を持った。全国の地域活性化活動について情報収集を行い、168の事例の傾向を分析し類型化を行った。また、海外との比較も行いその相違点・共通点を検証した。
3	修学旅行で訪問する場所について事前に調べ学習を行った。	修学旅行で訪れた地域での祭りへの参加がきっかけで、地域における「祭りの機能や意義」について興味を持った。その地域の祭りにどのような機能や意義があるのかを社会学の理論を用いて考察した。

※本学が定義する「探究活動」は、内容がアカデミックであり、社会的背景を含む活動です。

出願前にご自身の活動が本学の定義する「探究活動」に該当するか再度ご確認ください。

## 1. 募集人員・審査日程

(出願登録期間・入学検定料納入期間・提出書類送付期間)

「関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度」P. 2 をご確認ください。

学部	学科・課程・専修・コース	募集人員	出願期間	第一次審査	第一次審査 合否発表	第二次審査 (第一次審査 合格者のみ)	第二次審査 合否発表	
神学部	キリスト教思想・文化コース	若干名	2026年 9月1日(火) ～9月8日(火)	書類審査	10月16日(金)	10月24日(土)	11月13日(金)	
文学部	文化歴史学科	哲学倫理学専修						10名
		美学芸術学専修						
		地理学地域文化学専修						
		日本史学専修						
		アジア史学専修						
	西洋史学専修							
	総合心理科学科	心理科学専修						
	文学言語学科	日本文学日本語学専修						
英米文学英語学専修								
フランス文学フランス語学専修 ドイツ文学ドイツ語学専修								
社会学部	社会学科	5名						
法学部	法律学科 政治学科	5名						
経済学部	—	7名						
商学部	—	5名						
人間福祉学部	社会福祉学科 社会起業学科 人間科学科	3名						
国際学部	国際学科	10名						
教育学部	教育学科	幼児教育学コース						若干名
		初等教育学コース						若干名
		教育科学コース						若干名
総合政策学部※	総合政策学科 メディア情報学科 都市政策学科 国際政策学科	5名						
理学部	数理科学科 物理・宇宙学科 化学科	若干名						
工学部	物質工学課程 電気電子応用工学課程 情報工学課程 知能・機械工学課程	若干名						
生命環境学部	生物科学科 生命医科学科 環境応用化学科	若干名						
建築学部	建築学科	若干名						

審査の結果、本学の求める学力等の水準に満たないと判断された場合、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

募集人員を満たさなかった場合、満たなかった定員分は他の入学試験で募集します。

※総合政策学部は、学部一括で募集します。学科に所属するのは2年次からです。

## 2. 出 願 資 格

文系学部については、以下(1)～(4)の全てに該当する者。理系学部については、以下(1)～(5)の全てに該当する者。また、全学部において、合格した場合は本学に入学することが条件となります。

文系学部：神学部・文学部・社会学部・法学部・経済学部・商学部・人間福祉学部・国際学部・教育学部・総合政策学部  
理系学部：理学部・工学部・生命環境学部・建築学部

(1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2027年3月に卒業見込みの者。通常の課程による12年の学校教育を修了した者、もしくは2027年3月に修了見込みの者。学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者（最下部参照）。

(2) 積極的な勉学意欲を有する者で、所属する高等学校もしくは中等教育学校における「教育課程内の授業」もしくは「正課外活動」にて探究活動（高等学校入学後の活動に限る）<sup>\*</sup>に取り組んでいる者もしくは取り組んだ者。

※P.1<本学が定義する「探究活動」について>もご参照ください。

(3) 高等学校もしくは中等教育学校での自身の探究活動において、学校内での発表会や他校との合同発表会、外部機関が主催する大会やコンテスト等で発表を行った者。なお、発表会、大会やコンテスト等の規模やレベルは問わない。ただし、高等学校入学後の実績に限る。

(4) 本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）の正規スコア<sup>\*</sup>を有する者。

<文系学部> CEFR B1レベル以上を有する者

<理系学部> CEFR A2レベル以上を有する者

または高等学校において、入学時より最終学年1学期末までの（2学期制の場合は、その前年度末までの）全体の学習成績の状況が3.5以上である者。

※「本学が指定する英語資格・検定試験のスコアについて」に記載されているもので、正規スコアとする。

また、各民間試験運営機関が定める有効期限内のものに限る。詳しくは本学入試情報総合サイト（<https://www.kwansei.ac.jp/admissions/guideline/>）をご確認ください。



(5)（理系学部のみ）卒業時において下表の科目を履修済みである者。

	理学部			工学部				生命環境学部			建築学部
	数理 科学科	物理・ 宇宙 学科	化学科	物質 工学 課程	電気電子 応用工学 課程	情報工学 課程	知能・ 機械工学 課程	生物 科学科	生命 医科学科	環境 応用 化学科	建築 学科
外国語 (英語：原則15単位以上)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bの「数列」、数学Cの「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」 <sup>*</sup>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「物理基礎」および「物理」	△	○	△	△	△	△	△	▲	▲	△	△
「化学基礎」および「化学」	△	△	○	△	△	△	△	▲	▲	○	△
「生物基礎」および「生物」	△	△	△	△	△	△	△	▲	▲	△	△

※旧教育課程履修者については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの「数列」、「ベクトル」を履修済みであること。

○：卒業時に履修済みのこと

△：△から、いずれか1つを卒業時に履修済みのこと

▲：▲から、いずれか2つを卒業時に履修済みのこと

\*数学と理科の単位読み替えについて

【数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（新教育課程履修者のみ数学C）】は、【理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論】に読み替え可能。

【「物理基礎」および「物理」】は、【理数物理】に読み替え可能。

【「化学基礎」および「化学」】は、【理数化学】に読み替え可能。

【「生物基礎」および「生物」】は、【理数生物】に読み替え可能。

学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者とは、以下を示す。

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
3. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
4. 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で2027年3月31日までに18歳に達する者等）
5. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
6. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
7. 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者。なお、個別の入学資格審査によって出願資格の認定を希望する者は、出願開始日の1カ月前までに本学所定用紙を用いて申請すること。申請に必要な書類は、事前に本学入学センターまで請求すること。

### 3. 審査日時・場所・審査方法・合否発表

〈第一次審査〉 書類審査：探究活動の成果物を含む提出書類をもとに総合的に評価します。  
合否発表※<sup>1</sup>：2026年10月16日（金）午前9時

〈第二次審査〉 第一次審査の内容を合わせて総合的・多面的に評価します。  
審査日時・場所・審査方法は、学部によって異なります（以下表を参照）。  
合否発表※<sup>1</sup>：2026年11月13日（金）午前9時

学部	審査日時・場所	審査方法
神学部	2026年10月24日(土) 時間：午前10時 場所：西宮上ヶ原キャンパス 神学部校舎	面接審査（探究活動に関するプレゼンテーション含む）※ <sup>3</sup>
文学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮上ヶ原キャンパス F号館	面接審査（プレゼンテーション含む）※ <sup>3</sup>
社会学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮上ヶ原キャンパス E号館	面接審査（提出書類に基づいて質疑応答を行います。探究活動に関するプレゼンテーションの時間は特に設けませんので、出願書類以外の資料は必要ありません。）
法学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮上ヶ原キャンパス A号館	面接審査（プレゼンテーション含む） ※テーマは「探究活動について」 ※プレゼンテーション用のレジュメをA4サイズ用紙1枚に出願者本人が自筆（手書きに限る。パソコン使用不可。）で自由に作成し、2026年10月21日(水)までに必着で提出してください（P.6 提出書類⑨参照）。レジュメには必ず出願番号と高等学校名、氏名を右上に記入してください。 ※当日は手書きのレジュメをもとにプレゼンテーション（約5分）実施後、面接を含む質疑応答（約15分）を行います。その際、法学部が用意する黒板またはホワイトボードの使用は可能ですが、それ以外の使用はできません。
経済学部	2026年10月24日(土) 時間：午前10時 場所：西宮上ヶ原キャンパス C号館	面接審査（口頭試問、プレゼンテーション含む）※ <sup>3</sup>
商学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮上ヶ原キャンパス 商学部本館	面接審査（口頭試問、プレゼンテーション含む）※ <sup>2</sup>
人間福祉学部	2026年10月24日(土) 時間：午前10時 場所：西宮上ヶ原キャンパス G号館(当日掲示)	面接審査（口頭試問含む）
国際学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮上ヶ原キャンパス G号館（国際学部/IS棟）	プレゼンテーション・グループディスカッション審査※ <sup>3</sup>
教育学部	2026年10月24日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：西宮聖和キャンパス	面接審査（口頭試問・プレゼンテーション含む）※ <sup>3</sup>
総合政策学部	2026年10月31日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：神戸三田キャンパス	面接審査（口頭試問含む）
理学部	2026年10月31日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：神戸三田キャンパス	面接審査（口頭試問含む）
工学部	2026年10月31日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：神戸三田キャンパス	面接審査（口頭試問含む）
生命環境学部	2026年10月31日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：神戸三田キャンパス	面接審査（口頭試問含む）
建築学部	2026年10月31日(土) 時間：未定※ <sup>2</sup> 場所：神戸三田キャンパス	面接審査（口頭試問・プレゼンテーション含む）

※<sup>1</sup> 合否発表日の当日に合否結果を受験ポータルサイト UCARO 上で発表します。確認方法の詳細は、「関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度」P.10をご確認ください。審査内容や合否に関するお問い合わせには一切応じません。

※<sup>2</sup> 集合時間等については、第一次審査合格者に対して UCARO のメッセージにてお知らせします。

※<sup>3</sup> 詳細は、第一次審査合格者に受験ポータルサイト UCARO でお知らせします。


#### （第二次審査における受験にあたっての注意事項）

1. 受験票は必ず携帯してください。試験当日に万一紛失したり忘れた場合は、係員に申し出てください。
2. 指定された試験会場には、各試験開始の20分前までに集合し、着席しておいてください。なお、試験開始後30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。
3. 試験当日までに必ず「関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度」P.8～10をご確認ください。

#### 4. 提出書類と提出書類記入上の注意

(提出書類の送付先)

「関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度」P. 5 をご確認ください。

<b>1</b>	<b>提出書類のダウンロード（印刷） ※2026年6月中旬アップロード予定</b>
提出書類は本学 HP 入試情報総合サイト（下記 URL）からダウンロードし、必要事項を記入したうえで提出してください。用紙サイズは A4 で統一してください。紙質は問いませんが、カラー用紙は不可とします。	
URL : <a href="https://www.kwansei.ac.jp/admissions/guideline/">https://www.kwansei.ac.jp/admissions/guideline/</a>	
	

<b>2</b>	<b>提出書類一覧と記入上の注意</b>
----------	----------------------

##### ①探究活動の成果物

複数ある場合は、1つだけ選択して提出してください。

※④探究活動（成果物）の概要説明書をはじめとする提出書類に記入された事実と差異がないようにしてください。

<成果物（例）>

- ・論文（コピー可）
- ・ポスター・プレゼンテーション資料
- ・実験の成果物（実験で作成したラボノート・利用した資料等）等

##### ②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類

論文集、雑誌、インターネット等掲載された媒体等がある場合は、成果物が掲載されたことがわかる証拠書類（タイトル・目次・当該ページのコピー等）を提出してください。

##### ③引用文献の証拠書類

成果物を作成するにあたり、引用した文献がある場合は、「④探究活動（成果物）の概要説明書」の「引用した文献」に記載した引用文献の「タイトル」「著者名」「媒体名」がわかる資料（表紙のコピー等）を提出してください。

##### ④探究活動（成果物）の概要説明書【本学所定用紙】 **A4サイズ・片面印刷**

『①探究活動の成果物』の概要および作成にいたるプロセス等を説明するための提出書類です。なお、本提出書類は、該当する Excel データを作成後に印刷して提出が必要となります。データの作成にあたっては、入学試験要項とあわせて『概要説明書 作成の手引き』（入学試験要項と同ホームページ上に掲載）の内容をよく読み、入力漏れがないよう、丁寧に作成してください。

※記入する内容は、①探究活動の成果物やその他提出書類に記入された事実と差異がないようにしてください。

<作成手順>

Step1. 『概要説明書 作成の手引き』の内容を確認する

Step2. 自分の探究活動が以下<探究活動のタイプ>のどれに該当するか確認する

<探究活動のタイプ> ※探究活動タイプの選択が評価に影響することはありません。

探究活動タイプ “A”

→実験や質問紙調査等により新たなデータを収集し、知見を明らかにしようとした探究活動  
※開発・作成関連（アプリ開発・教材の作成等）の探究活動も含む

探究活動タイプ “B”

→他者との交流や協働（例えば海外の学校等）を通じた実践活動等の探究活動

探究活動タイプ “C”

→特定のテーマに関する学術的考察を通じた探究活動

Step3. 自分の探究活動タイプにあった『④探究活動（成果物）の概要説明書』（Excel データ）をダウンロードする

Step4. 『概要説明書 作成の手引き』の指示に従って Excel データを作成する

Step5. 完成した Excel データを A4 サイズ・片面で印刷し、他の提出物と一緒に提出する

<注意事項>

★日本語で作成してください。

★探究活動タイプの選択が評価に影響することはありませんので、ご自身の探究活動に最も近いタイプを選択してください。

★ Excel データは、文字フォントやサイズ、体裁、印刷向き、ページ数等を変更しないでください。また、拡大や縮小もしないでください。なお、文字が切れている場合、フォント種類・サイズが基本設定のものとは明らかに異なる場合は、再提出や評価の対象とならないことがあります。提出前に必ず印刷したうえで確認してください。

※変更されている場合、再提出となります。

★文字数の制限がある項目は、枠外右下に文字数カウントがありますので確認してください。半角・スペースも1文字としてカウントします。文字数カウントが制限を超えている場合は、公平性の観点から評価の対象としません。

★いかなる場合も手書きでの提出は認めません。

**⑤発表の記録【本学所定用紙】 A4サイズ・片面印刷**

「学校内での発表会」・「他校との合同発表会」・「外部機関が主催する大会やコンテスト等」の区分について発表を行った記録を記入してください。それぞれの発表会区分に複数参加した場合は、最も結果が良かったものを選んでその内容を記入してください。発表会、大会やコンテスト等の規模やレベルは問いません。

**⑥発表の記録の証拠書類**

「外部機関が主催する大会やコンテスト等」の区分に記入した発表会のみ発表したことが確認できる証拠書類（受賞等した場合は受賞したことがわかる証拠書類）が必要です。証拠書類の書式は自由ですが、以下、「<証拠書類の留意事項>」を確認の上、準備・提出してください。

**<証拠書類の留意事項>**

- ・必ず高校名および氏名が確認できる書類（受賞等した場合は受賞実績が確認できる書類）を準備してください。
- ・発表したこと（受賞等した場合は受賞したこと）を第三者が客観的に判断できるような書類を準備してください。客観的に判断できない書類は評価の対象となりません。なお、客観的に判断できる書類がない場合は、P. 13 **Q & A** 12. をご確認ください。
- ・原本のコピーの提出でも可能です。
- ・いったん提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。

**⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証**

全体の学習成績の状況が3.5未満の方は必ず本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）のスコア表もしくは合格証を提出してください。なお、全体の学習成績の状況が3.5以上であっても、本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）の正規スコアを有している場合は、英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証を提出してください。

提出するスコア表もしくは合格証については、以下の点に留意してください。


- ・原本のコピーでも提出可能ですが、スコア等が載っているインターネットの画面を印刷したものは認めません。

※実用英語技能検定の「デジタル証明書」は受領しません。ただし、出願期間内にスコア表もしくは合格証が届かず、提出書類として用意できない場合に限り、「デジタル証明書」にある「デジタル合格証明書プレビュー」画面に記載の「合格証明書」を印刷し、提出することは可能です。その場合、スコア表や合格証が手元に届き次第すぐに、原本もしくはコピーを提出してください。なお、原本もしくはコピーを指定の期日までに提出しなかった場合には、合格を取り消し、入学後であっても入学を取り消します。

- ・TOEICについては、TOEIC 実施団体が発行する「デジタル公式認定証 (PDF ファイル)」をダウンロードの上、各自で印刷したものでの提出も可能です。

「デジタル公式認定証 (PDF ファイル)」を提出する際は、A4サイズで印刷の上、提出してください。

- ・GTECについては OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限ります。
- ・取得時期は問いませんが、有効期限があるものは期限内のものに限ります。

※「本学が指定する英語資格・検定試験のスコアについて」に記載されているもので、正規スコアとする。また、各民間試験運営機関が定める有効期限内のものに限る。詳しくは本学入試情報総合サイト  (<https://www.kwansei.ac.jp/admissions/guideline/>) をご確認ください。

**⑧調査書（厳封）**

P. 7を参照してください。なお、調査書の封筒には、下記『探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト』を同封してください。

**■探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト【本学所定用紙】（厳封） A4サイズ・片面印刷**

担当教員（授業科目担当・担任・正課外活動の顧問等）が記入し、署名・捺印の上、調査書の封筒に同封してください。出願者が『① 探究活動の成果物』の作成にあたり、探究活動を行った主たる時間（授業科目名や課外活動名）をリストにしてください。

**⑨第二次審査用レジュメ ※法学部志願者で第一次審査合格者のみ提出必須**

A4サイズ用紙1枚。第一次審査合格者を対象に行う第二次審査：面接審査（プレゼンテーション含む）用のレジュメを出願者本人が自筆（手書きに限る。パソコン使用不可。）で自由に作成してください。レジュメの右上に必ず出願番号と高等学校名、氏名を記入してください。提出締切日は2026年10月21日（水）必着とします。提出書類一覧に記載されている他の提出書類に同封して提出していただいても結構です。別便で送付する場合は、封筒を各自ご用意いただき、封筒の表に出願番号、高等学校名、氏名を記入し、「第二次審査用レジュメ在中」と赤字で明記の上、期日までに次の宛先に必ず簡易書留速達で送付してください。

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院大学法学部入試担当宛

**A) 高等学校、中等教育学校卒業見込者および卒業生**

文部科学省指定様式。高等学校において「高等学校生徒指導要録」に基づき、出願前3カ月以内に作成し、厳封したものを提出してください。卒業見込者については、第3学年1学期（または前期）までの「学習成績の状況」にて作成してください。なお、卒業生で調査書が発行できない場合は「卒業証明書」・「成績証明書」を提出してください。

(注)「学習成績の状況」については、高等学校卒業見込の者は第3学年1学期（または前期）まで、卒業した者は第3学年修了時までのものとします。2学期制の高等学校において、第3学年前期までのものの提出が不可能な場合は、第2学年修了時までのものとします。調査書は高校3年間（高等学校卒業見込の者は第3学年1学期、または前期まで）の成績をもれなく記載したものを提出してください。留学した場合は留学先の高校の成績を添付してください。

**B) 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者および大学入学資格検定合格者**

下記の書類を提出してください。

合格者

- (イ)「合格証明書」または「合格証書を複写（コピー）したもの」
- (ロ)「合格成績証明書」

合格見込者

- (イ)「合格見込成績証明書」

**C) 外国の高等学校卒業（見込）者または修了（見込）者**

下記の(イ)～(ハ)の書類を提出してください。海外から出願する場合、提出書類は出願期間内必着で送付してください。なお、提出する証明書の使用言語は日本語または英語とします。それ以外の場合は、出身学校・公的機関（大使館、中国においては公証処）等による和訳または英訳が必要です。海外の公証役場による証明は認めません。

- (イ) 外国の高等学校の「卒業（見込）または修了（見込）証明書」「卒業証書（Diploma）」のコピーを提出する場合は、必ず原本から正しく複製されたもの〈Certified true copy〉であることの証明を出身高等学校から受けたものを提出してください。その証明がないものは無効です。
- (ロ) 外国の高等学校の「成績証明書」
- (ハ) 日本の高等学校で取得した科目がある場合は、日本の高等学校の「調査書」もしくは「成績証明書」

**提出書類の留意事項について**

- ・海外から出願する場合は、出願期間内必着です。提出書類は、出願期間内に必着できるよう余裕を持って準備してください。各国の郵便事情は一切考慮しません。なお、送付の際は、追跡確認が可能な方法で送付してください。
- ・いったん送付された提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。

**出願書類の虚偽記載について**

出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。

書類番号	種類	作成・提出方法	備考
①	探究活動の成果物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自身が取り組んだ探究活動の成果物（論文（コピー可）やポスター・プレゼンテーション資料）を印刷する。 ※印刷することができない場合は原本のまま でよい</li> <li>2) 本学ホームページから「①探究活動の成果物表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「探究活動の成果物」に「①探究活動の成果物表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol>	「①探究活動の成果物 表紙」は A4 サイズ・片面で印刷すること。
②	成果物が掲載されたことがわかる証拠書類	<p>■論文集、雑誌、インターネット等掲載された媒体等がある場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「成果物が掲載されたことが確認できる証拠書類」（タイトル、目次、当該ページのコピー等）を準備する。</li> <li>2) 本学ホームページから「②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「成果物が掲載されたことがわかる証拠書類」に「②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol> <p>■論文集、雑誌、インターネット等掲載された媒体等がない場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>2) 「②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類 表紙」のみ提出する。</li> </ol>	「②成果物が掲載されたことがわかる証拠書類 表紙」は A4 サイズ・片面で印刷すること。
③	引用文献の証拠書類	<p>■引用文献がある場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 引用文献のタイトル、著者名、媒体名がわかる資料（表紙のコピー等）を準備する。</li> <li>2) 本学ホームページから「③引用文献の証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「③引用文献の証拠書類」に「③引用文献の証拠書類 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol> <p>■引用文献がない場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「③引用文献の証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>2) 「③引用文献の証拠書類 表紙」のみ提出する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「③引用文献の証拠書類 表紙」は A4 サイズ・片面で印刷すること。</li> <li>● 「③引用文献の証拠書類 表紙」は証拠書類ごとにクリップ等で留めて提出すること。</li> </ul> <p>例) 「探究活動(成果物)の概要説明書」の「引用した文献」の「1」「2」のみ記載し、「3」～「5」は空白にした場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「探究活動(成果物)の概要説明書」の「引用した文献」の「1」に記載した証拠書類は「③引用文献の証拠書類 1 表紙」と一緒にクリップ留めし提出する。</li> <li>・「探究活動(成果物)の概要説明書」の「引用した文献」の「2」に記載した証拠書類は「③引用文献の証拠書類 2 表紙」と一緒にクリップ留めし提出する。</li> <li>・「③引用文献の証拠書類 3 表紙」「③引用文献の証拠書類 4 表紙」「③引用文献の証拠書類 5 表紙」は必要事項を入力し、表紙のみ提出する。</li> </ul>

④	探究活動（成果物）の概要説明書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「探究活動（成果物）の概要説明書」をダウンロードし、「概要説明書 作成の手引き」を参照の上、必要事項を入力する（手書き不可）。</li> <li>2) 1) で作成した「探究活動（成果物）の概要説明書」を印刷する。</li> <li>3) 本学ホームページから「④探究活動（成果物）の概要説明書 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>4) 「探究活動（成果物）の概要説明書」に「④探究活動（成果物）の概要説明書 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol>	<p>「探究活動（成果物）の概要説明書」「④探究活動（成果物）の概要説明書 表紙」はA4サイズ・片面で印刷すること。</p>
⑤	発表の記録	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「発表の記録」をダウンロードし、必要事項を記入する（手書きのみ）。</li> <li>2) 本学ホームページから「⑤発表の記録 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「発表の記録」に「⑤発表の記録 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol>	<p>「発表の記録」「⑤発表の記録 表紙」はA4サイズ・片面で印刷すること。</p>
⑥	発表の記録の証拠書類	<p>■「⑤発表の記録」の「外部機関が主催する大会やコンテスト等」の区分に記入した方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「外部機関が主催する大会やコンテスト等」に参加し、発表したことが確認できる証拠書類（受賞等した場合は受賞したことが確認できる証拠書類）を準備する。</li> <li>2) 本学ホームページから「⑥発表の記録の証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「発表の記録の証拠書類」に「⑥発表の記録の証拠書類 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol> <p>■「⑤発表の記録」にて「外部機関が主催する大会やコンテスト等」に出場していない方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「⑥発表の記録の証拠書類 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>2) 「⑥発表の記録の証拠書類 表紙」のみ提出する。</li> </ol>	<p>「⑥発表の記録の証拠書類 表紙」はA4サイズ・片面で印刷すること。</p>
⑦	英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証	<p>■全体の学習成績の状況が3.5未満もしくは本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）のスコアを有している方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証を準備する。</li> <li>2) 本学ホームページから「⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>3) 「英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証」に「⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証 表紙」をクリップ等で留めて提出する。</li> </ol> <p>■全体の学習成績の状況が3.5以上かつ本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）のスコアを有していない方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学ホームページから「⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証 表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。</li> <li>2) 「⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証 表紙」のみ提出する。</li> </ol>	<p>「⑦英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証 表紙」はA4サイズ・片面で印刷すること。</p>

	調査書（厳封）	1) 担当教員がP.7を参照の上、調査書を準備する。 2) 本学ホームページから「⑧調査書（厳封）表紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、印刷する。 3) 「調査書（厳封）」に「⑧調査書（厳封）表紙」をクリップ等で留めて提出する。	「⑧調査書（厳封）表紙」はA4サイズ・片面で印刷すること。
⑧	探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト	1) 本学ホームページから「探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト」をダウンロードし、印刷する。 2) 担当教員（授業科目担当・担任・正課外活動の顧問等）が1)で印刷した「探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト」を記入し、署名・捺印する。 3) 調査書の封筒に作成した「探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト」を同封し、提出する。	「探究活動を行った授業科目・正課外活動リスト」はA4サイズ・片面で印刷すること。

**注意事項**

- 書類は書類番号順に並べて、全ての書類に表紙がついていることを確認の上、提出してください。提出する書類がない場合であっても表紙は必ず提出してください（右図1参照）。
- 同じ書類番号で2枚以上の資料は、ゼムクリップ、バインダクリップ（右図2）を使用してまとめてください。

図1

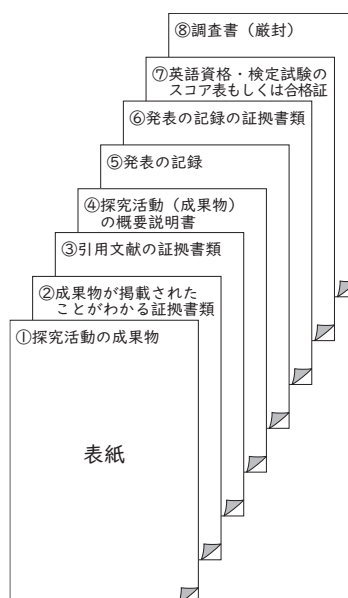


図2



## 5. 前年度の入学試験結果

前年度の入学試験の結果は、以下 URL もしくは QR コードからご確認ください。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/admissions/exam-data/2026.html>



## 6. Q & A

### 1. どのような活動が「探究活動」に該当しますか。

本学が定義する「探究活動」は、活動の内容がアカデミックであり、社会的背景を含む活動です。

P. 1 <本学が定義する「探究活動」について>も併せてご参照ください。

### 2. 所属する高等学校での活動ではなく、自宅や外部機関で個人的に取り組んだ探究活動で「外部機関が主催する大会やコンテスト等」に出場しましたが、出願可能ですか。

出願いただけません。対象となる探究活動は、所属する高等学校もしくは中等教育学校における「教育課程内の授業」もしくは「正課外活動」にて行った探究活動（高等学校入学後の活動に限る）です。

### 3. 「学校内での発表会」とはどのような発表会が該当しますか。

<例>

- ・授業内で発表を行った。
- ・クラス対抗の発表会を行った。
- ・作成したポスターを掲出し、ポスターについて説明や発表を行った。
- ・理科クラブ内で実験成果の発表を行った。

### 4. 複数名のグループで探究活動を行い、成果物もそのグループで作成しました。同じグループのメンバーも本入学試験での出願を考えていますが、全員が同じ成果物（『①探究活動の成果物』）を提出することは可能ですか。

『①探究活動の成果物』は、全員同じものを提出することが可能です。ただし、他の提出書類や審査においては、自身の役割や担当箇所等を明確にする必要があります。

### 5. 「探究評価型入学試験要項」P. 3の「2. **出願資格**」の(4)に記載の「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）の正規スコア」と所属する学校における「全体の学習成績の状況が3.5以上」の両方を満たしている場合、英語資格・検定試験のスコア表もしくは合格証を提出した方が良いですか。

提出書類をもとに総合的・多面的に評価するため、必ず提出してください。

### 6. 探究評価型入試では、どのような受験生を求めていますか？

探究評価型入試では、学校生活の中で主体的に取り組んだ探究活動を通して高度な知識・技能を習得し、それらを活用して適切に思考・判断・表現することのできる受験生を求めています。具体的には、1) 自らの興味関心と自己決定に基づき探究課題を設定できる力、2) 探究課題に係る情報やデータを適切に収集することが出来る力、3) 収集した情報・データを適切に分析することが出来る力、4) 分析結果を適切に考察することが出来る力を求めています。また、探究活動に取り組む過程を通して5) 多様な人々と交流し、異なる文化や価値観をもった人々を理解する資質と、適切にコミュニケーションを取ることのできる力を求めています。ただし、タイプA～Cではそれぞれ評価の重点項目が異なります。以降のQ & Aを熟読し、それぞれのタイプで、上記1)～5)のどの部分が重視されているかを確認してください。

## 7. タイプAとタイプCの違いは何ですか？

タイプAとタイプCは、学術的なテーマに関する探究活動との相性が良いタイプです。一次データを定量的に収集し分析をする場合はタイプA、特定の文献や理論を用いながら事物や現象について考察するのがタイプCとなります。ただし、定量的な情報・データではなく文献研究や理論研究等、考察に重点を置いた論考の場合は、タイプCに該当します。いずれの特徴も含まれる探究活動の場合は、より魅力を説明しやすい方を選択してください。

## 8. 第一次審査では、どのような点を評価しますか？

第一次審査では、探究活動の成果物を含む提出書類をもとに総合的に評価しますので、全ての項目において、具体的な記載を心掛けてください。また、タイプA、B、Cそれぞれで評価の観点が異なります。特に、提出書類「④探究活動（成果物）の概要説明書」を記載する際に以下の点を参考にしてください。

### 【タイプA】

学術的なテーマについて、①何が問題なのか（明らかになっていないのか）②よって、何を探究の目的に設定したのか（仮説やリサーチクエスチョン）③目的を達成するために何故そのデータを収集したのかという妥当性④どのように分析したのか⑤何が明らかになったのかを適切に説明することが重要です。特に①～③の論理展開について留意してください。また、③～⑤については、②を適切に考察するために重要な内容になりますので特に留意して説明してください。

### 【タイプB】

他者や社会との協働に重点を置いた探究活動との相性が良いタイプです。タイプBでは、①他者とどのような交流や協働が行われたのかに関する説明が極めて重要になります。具体的に誰とどのようなことをいつ行ったのかがわかるように丁寧に記載をしてください。また、②そもそも、他者との交流や協働が「何故行われたのか」についても適切に説明する必要があります。単に交流や協働を行うだけではなく、③交流・協働の結果、創造されたものの妥当性や明らかになった考察結果を適切に説明することが重要です。

### 【タイプC】

タイプCでは、分析・考察の論理展開と深さが重要になります。どのような事物・現象を、どういった理論等に基づき考察するのかを、適切に説明してください。また分析と考察結果を説明する際に、「何故そう言えるのか」を情報やデータを用いて、読み手に伝わるよう論理展開することが重要です。

## 9. 第二次審査では、どのような点を評価しますか？

第二次審査の内容は、学部により異なります。面接（口頭試問含む）やプレゼンテーション審査により、受験生の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価します。また、「なぜ本学の学部（学科・課程・専修・コース）であるのか」「大学入学後にどのような学びを実現したいのか」等の志望理由や意欲も評価ポイントになります。探究活動で取り組んだ内容や提出書類「④探究活動（成果物）の概要説明書」に記載した内容と併せて、出願学部への志望理由や意欲についても、ご自身の言葉で説明できるように準備しておいてください。提出した探究活動の内容と、学部で学ぶ内容が必ずしも関連している必要はありません。ただし、探究活動を含めた様々な学びを高校時代に経た結果、「関西学院大学で学びたい内容とその理由」については具体的に説明ができるようにしてください。

## 10. 外部機関が主催する大会やコンテスト等で発表や受賞等の実績がありませんが、審査において不利にならないでしょうか？

評価対象にはなりません。「探究活動の成果物」や「探究活動（成果物）の概要説明書」等提出書類をもとに総合的に評価しますので、外部機関が主催する大会やコンテスト等での発表や受賞等の実績がない場合でも合格実績は多数あります。

11. 自身の探究活動が、『④探究活動（成果物）の概要説明書』における〈探究活動のタイプA～C〉のどれに該当するか迷っています。

『概要説明書 作成の手引き』（入学試験要項と同ホームページ上に掲載）のP. 6 探究活動タイプ例 も参照してください。

12. 『⑥発表の記録の証拠書類』について、『⑤発表の記録』は、「外部機関が主催する大会やコンテスト等」の区分に記入した発表会のみ証拠書類が必要ですが、発表したことを客観的に判断できるような書類がない場合は、どうすればよいですか。

書式は自由で構いませんが、担当教員（授業科目担当・担任・正課外活動の顧問等）が以下1.～5.の項目について記入（項目5.は必ず直筆）した書類を証拠書類として提出してください。

必要項目：1. 書類を作成した日付

2. 高等学校名（正式名称）

3. 出願者の氏名（漢字フルネーム・フリガナ）および生年月日

4. 証明する実績の詳細（発表会名や内容・規模・受賞実績等）と「記載の実績に相違ない」旨の文言

5. **〈直筆〉**記載責任者（担当教員）氏名（漢字フルネーム・フリガナ）および役職、学校印

13. 出願方法やスケジュール、提出書類の送付先について教えてください。

「関西学院大学 総合型選抜 入学試験要項 共通冊子 2027年度」P. 2～5をご確認ください。

14. 他大学に合格したのですが、関西学院大学に合格した後、入学を辞退することは可能ですか。

『合格した場合は本学に入学すること』を出願資格としておりますので、合格後に他大学への進学等を理由として本学への入学を辞退することはできません。出願資格を十分に理解したうえで出願してください。